

施設計画

整備方針

中村橋駅周辺施設の統合・再編

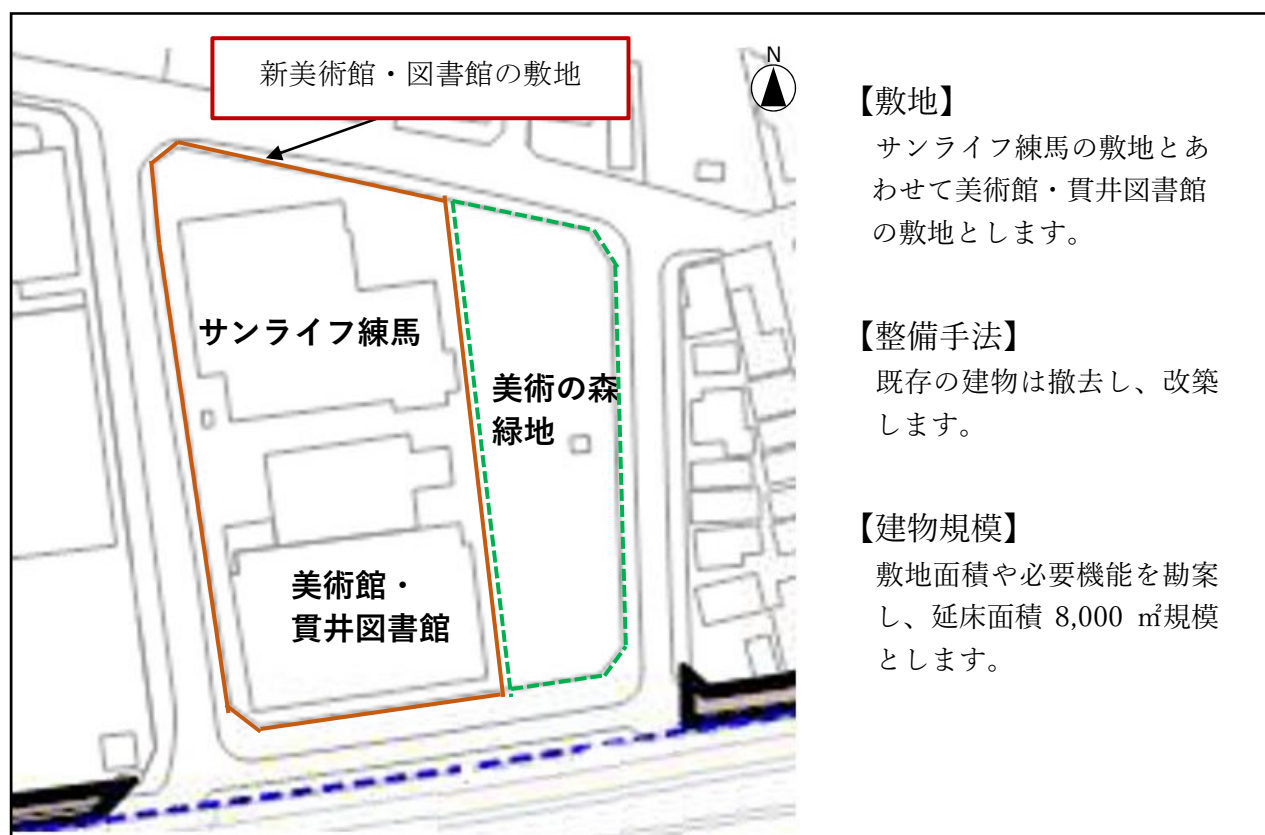
中村橋駅周辺には、美術館、貫井図書館のほか、サンライフ練馬と中村橋区民センターがあり、それぞれ老朽化や施設としての機能見直しなどの課題を抱えています。



区では、公共施設等総合管理計画〔実施計画〕において、『美術館の再整備にあわせた中村橋駅周辺施設の統合・再編』をリーディングプロジェクトに位置付け、以下の方向性で整理することとしました。

施設	整理の方向性（公共施設等総合管理計画 実施計画より）
美術館	再整備基本構想で掲げる3つのコンセプトの実現に向け、サンライフ練馬の敷地とあわせて全面改築します。
貫井図書館	美術館の改築にあわせて一体的に整備します。
サンライフ練馬 （東京中高年齢労働者福祉センター）	社会状況の変化に伴う区民ニーズや施設の利用状況等を考慮し、令和7年度を目途に廃止します。トレーニング室や会議室、相談事業等、引き続き必要な機能については、美術館の再整備、中村橋区民センターの大規模改修、他の施設での実施等により、代替を設けます。廃止後の敷地は、美術館の改築で活用します。
中村橋区民センター	トレーニング室の移設や会議室の増設など、サンライフ練馬の代替が確保できるよう、大規模改修の設計を行います。大規模改修時に休止できない事業について、光が丘第七小学校跡施設やサンライフ練馬の部屋の一部を活用します。

敷地・整備手法・建物規模



【敷地面積・延床面積】

	既存		再整備後（想定）	
	敷地面積(m ²)	延床面積(m ²)	敷地面積(m ²)	延床面積(m ²)
美術館・貫井図書館	2,246.2	4,358.5	4,090.3	8,000

【主な建築条件等】

項目		規定
①用途地域		第一種住居地域
②敷地面積の最低限度		75 m ²
③建ぺい率		60%（ただし角地緩和で+10%）
④容積率		200%
⑤高度地区		20m、第2種高度地区
⑥防火指定		準防火地域
⑦日影規制	5～10m	4時間
	10m～	2.5時間

整備プラン

設計者の選定

設計者の選定方式は、競争入札方式、設計競技方式（コンペティション方式）、企画提案方式（プロポーザル方式）などがあり、それぞれの特徴を踏まえて決める必要があります。

方式	特徴
競争入札方式	設計料（金額）を入札で競わせて設計者を選定する方式。設計を誰が行っても結果の同一性が保証される場合に有効。
設計競技方式 （コンペティション方式）	設計案を選ぶ方式。具体的な案を見てから選ぶことができる一方、選定後の大きな設計変更が困難。
企画提案方式 （プロポーザル方式）	設計者（事業者）を選ぶ方式。設計者の提案内容等を評価。設計段階で多様な意見を柔軟に反映することが可能。

美術館のリニューアルは、規模が大きく、公共性の高い事業であると同時に、高度な技術力が求められます。加えて、文化芸術拠点として相応しいデザインとするため、優れた創造性をもって質の高い設計を行わなければなりません。さらに、設計段階においても様々な意見の反映や調整が必要であることを考慮し、公募型の企画提案方式（プロポーザル方式）を採用します。

美術館再整備とそれに係る美術の森緑地改修の設計を提案内容とする予定です。

整備スケジュール

現時点で想定している整備スケジュールは以下のとおりです。今後、設計内容やそれぞれの進捗状況などにより前後する可能性があります。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
基本構想策定	→						
設計者選定		●→					
基本設計		●→					
実施設計			●→				
建築工事					●→		●

開館

リニューアル後の諸室機能・規模

誰もが気軽に施設を訪れることができるよう、美術の森緑地も含めて、施設全体でユニバーサルデザインを導入します。諸室の機能や規模は、今後の設計の中で詳細に検討していきます。

部門名		室名	規模目安 (㎡)	必要な機能・設備等
共用部	共用	①エントランスホール ・開架図書（一部） ・オープンギャラリー（美術作品） ・映像モニター・情報検索ライブラリー ・カフェレストラン ・ミュージアムショップ ・ミーティングスペース ・授乳室	880	・開架図書（一部）、オープンギャラリー（美術作品）、映像モニター・情報検索機器などが設置された大規模な吹き抜け空間に、カフェレストラン、ミュージアムショップ、ミーティングスペース、授乳室などが併設。 ・ホール全面の開架図書とオープンギャラリーにより図書館との空間的融合を実現。カフェレストランなどでも開架図書の閲覧が可能。 ・カフェレストランは美術館、図書館が閉館時も利用が可能。 ・ミーティングスペースは、打合せや託児室などにも利用できる汎用性の高い部屋。 ・映像モニターや情報検索ライブラリーなどにより、館内のイベント・展覧会などから、デジタルアーカイブを活用したコレクションや美術図書など様々な情報を発信。
		②多目的室	300	・コンサートや講演会、ワークショップや講座など、多様な活動に柔軟に対応するための機能・設備、倉庫などを設置。 ・可動壁などにより、部屋の区分利用が可能。
		③その他共用（廊下、EV、トイレ等）	1,864	・ユニバーサルデザインや施設運営・動線を考慮したエレベーター等の設置・増設、トイレ・救護室の拡充。
	共用部面積		3,044	
美術館	1 収集 保存	①収蔵庫	450	・現状の外部保管の解消と今後の収蔵品増へ対応。空調等、資料に適した収蔵環境。
		②収蔵庫前室	50	・収蔵庫への搬出入作業。
		③一時保管庫	100	・大規模企画展など借用資料の保管に必要な空調等の設備。
		④搬入口、トラックヤード、荷解室	150	・美術品専用。4tトラックを収容し、シャッター等による閉鎖空間で搬出入作業を行える規模、換気設備。
		小計	750	
	2 調査 研究	①美術館書庫	106	・美術館で管理が必要な美術図書等を保管。
		②倉庫	100	・展示や調査・研究に必要な資材を保管。
		小計	206	
	3 展示 公開	①常設展示室	500	・多彩なコレクションが活用できる機能・設備。可動壁などにより区分利用やゾーニングが可能。
		②企画展示室	1,200	・現代アートなど多様な作品に対応できる自由度の高い機能・設備。可動壁などにより区分利用やゾーニングが可能。
		③情報コーナー	66	・展覧会の情報提供や展示室の補完など汎用性の高い部屋。
		④展示準備室	100	・展示準備作業や展示備品の保管。
		⑤展示室前ホワイエ	200	・展示室前ホワイエ、券売等の空間。
		小計	2,066	
	4 交流	①区民ギャラリー	160	・専用搬入口、控室、備品倉庫を設置。
		②創作室	150	・制作機能の拡充（防音、電源の増設等）、備品倉庫を設置。
		③サポーター活動スペース	70	・ボランティア活動を行う作業スペース、ロッカー等を設置。
		小計	380	
	5 管理 運営	①事務・学芸員室	280	・スタッフの増員に伴う事務室等の拡張。
		②会議室、打合せスペース	50	・スタッフ専用の打合せスペース。
		③館長室、応接室	30	・応接室を兼ねた館長室。
		④管理諸室	100	・管理運営体制に合わせたロッカー室や休憩室等の設置。
		小計	460	
	美術館面積（共用部含まず）		3,862	
貫井図書館面積（共用部含まず）			1,094	・ブック・アート・キッズスペース※の設置、美術図書コーナーの充実など。 ※子どもたちが絵本などを読む従来の児童図書スペースに、自由にお絵描きや工作ができるなど、アートの要素を取り入れたスペース。
合計			8,000	

リニューアル後の施設の機能構成図（想定）

リニューアル後の施設の諸室、動線を想定した機能構成図です。今後、設計の中で詳細に検討していきます。

